

令和5年度 学習机組立ワークショップを 開催しました「森林環境譲与税活用事業」

令和6年1月23日(火)、南小学校で6年生48名による学習机組立ワークショップを行いました。このワークショップで学習机を子どもたちが自ら組み立てました。

この事業は、「森林環境譲与税」を活用した学習机組立キットを元、机の組立を通して町産材ヒノキの良さを知り、ふるさとである鏡野町への愛着を深め、物の大切さを学ぶ機会となることを目的として、毎年実施しています。

このほか、1月に奥津小学校、2月に香々美小学校、大野小学校、鶴喜小学校でも行い、総勢94名が組立を行いました。

組立ワークショップでは、児童たちはそれぞれの班に分かれ、鏡野町森林づくり協議会のメンバーや森林づくりセンター職員等のサポートを受けながら学習机の組立を行いました。

生徒が組立した学習机の天板には、金属製のフレーム、ヒノキのネームプレートが取り付けられ、これから3年間鏡野中学校で使用する世界で1つの専用机が完成します。



国際親善大会・全国大会出場者の壮行式

1月30日(火)、役場応接室で国際親善大会と全国大会の壮行式が行われ、山崎町長から激励の言葉と武本教育長から激励金が贈呈されました。

日本代表派遣団の澤 亮佑さん(南小6)は3月20～3月25日の期間、オーストラリアシドニーで行われる「オーストラリア国際親善ソフトボール大会」に出場されます。

山口 巧さん(中3)、平田未来さん(中2)は2月6～2月9日の期間、長野県野沢温泉村で行われる「第61回全国中学校スキー大会」に出場されます。

鏡野町では予選を突破して全国大会や国民スポーツ大会(旧称・国体)等に出場される選手や団体に激励金を贈呈しています。詳しくはホームページをご確認ください。



被災支援チーム「チームおかやま」への 職員派遣出発式

2月1日(木)、鏡野町中央公民館で被災支援チーム「チームおかやま」へ職員派遣の出発式が行われました。

今年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震に対して、全国知事会からの要請により、岡山県と県内市町村が合同で「チームおかやま」を結成し、富山県氷見市へ派遣を行うに当たり、鏡野町からも職員が派遣されることとなりました。



高齢者叙勲(教育功労者)伝達式

1月12日(金)、鏡野町中央公民館教育長室にて、元鶴喜小学校長の日笠至陸先生(ひがしゆしむつ)の奥様へ高齢者叙勲「瑞宝双光章」の伝達式が行われました。

この高齢者叙勲は、春秋叙勲によって勲章を授与されていない教育功労者に対して、88歳(米寿)に達した機会に勲章が授与されるものです。

日笠先生は、昭和31年4月に苦田郡加茂町立西小学校教諭として教育界に第1歩を踏み出し、昭和62年3月までの31年間、教諭として赴任した苦田郡内の小学校で、卓越した指導により、強健な心身を育む教育に専念する一方で、地域との連携にも努め、児童や保護者からの信望も厚く、学校教育の向上に尽力されました。

昭和62年4月からは、苦田郡奥津町立久田小学校の教頭として、平成2年には真庭郡美甘村立美甘小学校長に抜擢され、平成5年4月には苦田郡鏡野町立鶴喜小学校長に補され、平成7年3月の退職まで5年間にわたり小学校長として、児童の学力向上、豊かな人間性、創造性を重視した教育を目標とし、職員の指導や小学校教育に全力を傾注し尽力されました。

